



## 知ってほしい母子感染①



サイトメガロウイルス感染症について  
～予防には手洗いが重要です～

# サイトメガロウイルス感染症とは

- サイトメガロウイルスによる感染症は、世界中で非常によくみられる感染症であり、どの年齢の人にも感染する可能性があります。いったん、サイトメガロウイルスが体内に入れば、ウイルスは一生涯体内にとどまります（潜伏感染）。日本では成人女性の60～70%程度が感染し、免疫を持っていると言われています。
- サイトメガロウイルスは、尿、唾液、乳汁、血液、涙、精液、膣分泌物といった、種々の体液中に存在します。
- 多くは子どものうちに感染します。妊娠中に感染したときの症状を引き起こすことは少なく、あっても風邪症状程度です。発熱、倦怠感、リンパ節の腫脹などが出現する場合がありますが、サイトメガロウイルス感染症と気づくことはほとんどありません。

# サイトメガロウイルス感染症の注意が必要な時

- 免疫力が低下した人は重篤な症状（脳炎や失明など）が出現する場合があります。
- 妊婦中に初めて感染した場合、妊婦自身にほとんど症状がなくても、お腹の赤ちゃんにまで感染がおよぶことがあります。いわゆる、母子感染です。

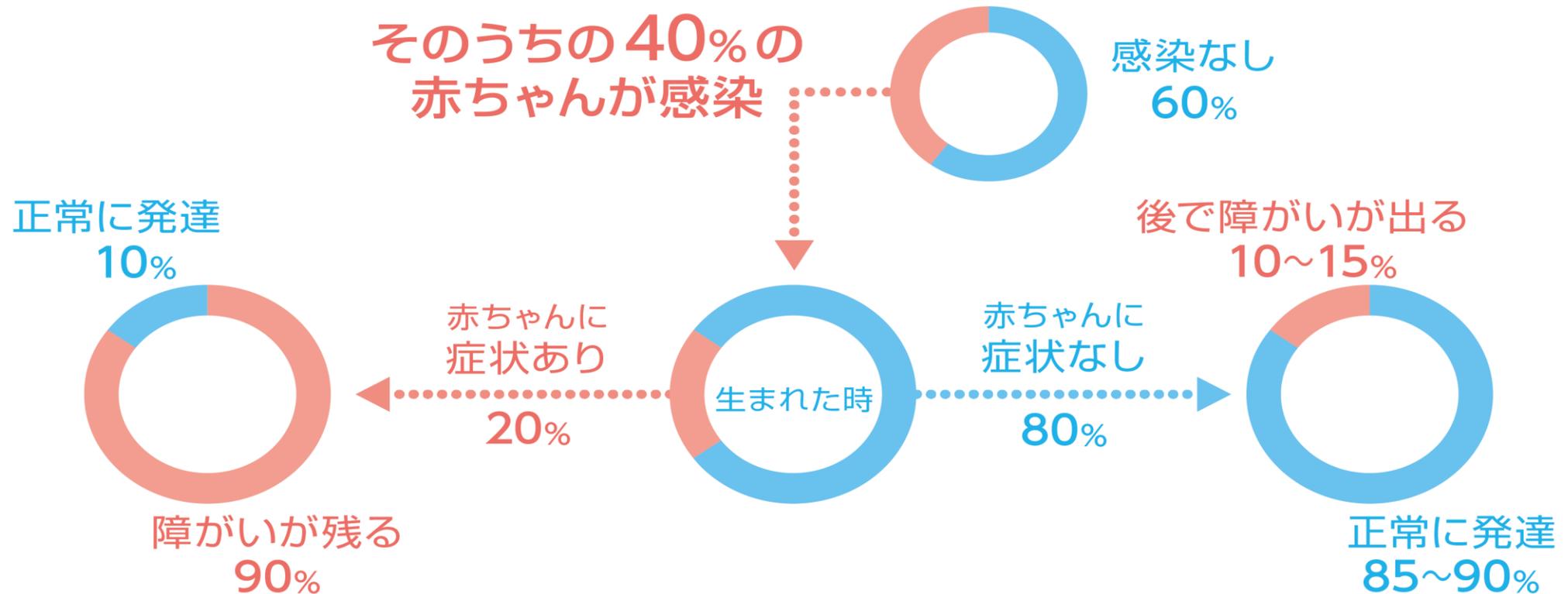
# サイトメガロウイルスに感染した赤ちゃんにはどのような症状がでますか？

- 大部分の児は無症状で出生します。一部の児には出生児から、また無症状で出生しても遅れて発生することがあります。
- **注意すべきは進行性の難聴です。**  
そのほか、視力障害、精神発達遅延、肺、肝臓、脾臓の問題などです。流産や死産になる場合もあります。
- 分娩時や生後に授乳、輸血、感染した他の子どもとの接触では、感染する場合がありますが、健康問題は発生しません。

# 妊娠中にサイトメガロウイルスに感染した場合に赤ちゃんにどのくらいの割合で発症しますか？

サイトメガロウイルスの先天性感染と赤ちゃんの障がいの危険率

抗体を持たないお母さんの場合1~2%のお母さんが感染します



# 検査で今現在感染しているもしくは過去に感染したことを調べることができますか？

- 抗体検査(血液検査)で過去に感染した可能性があるか調べることはできます。しかし、全妊婦に対するサイトメガロウイルス抗体スクリーニング検査は、技術的、倫理的な問題が多いため世界的にみても推奨されていません。
- そのため、**当院でも検査は行っていません**。ただし、ご希望のある方は検査を受けることはできます。(費用は自己負担です。)
- 超音波検査で赤ちゃんの脳室拡大、小頭症、頭蓋内の石灰化、腹水、肝脾腫、胎児の発育不全などの所見がある場合は先天性感染が存在する可能性が高い場合があります。
- 羊水のサイトメガロウイルスDNA検査を行う場合もあります。

# 産まれてきた赤ちゃんが先天性サイトメガロウイルス感染症かはどのような検査をしますか？

- 先天性サイトメガロウイルス感染の診断は、生後3週間以内の赤ちゃんの尿で行います。
- 先天性感染時と確定診断された場合は、血液検査や脳画像検査（超音波、MRI）、聴力検査、眼底検査などを行います
- しばしば遅発性・進行性に症状が出る場合があるため、小学校就学前くらいまで定期的に行うことが必要です。
- 高知県在住で同県の産科医療機関で出産された方は公費負担で新生児に対する聴覚検査を実施しています。

# 公費負担の検査について具体的に教えてください

- 生まれて間もない時期に、聞こえの程度の推測できる検査で、自動聴性脳幹反応（AABR）という検査です。
- 赤ちゃんが眠っている間に、数分程度で終了する安全な検査で薬も使いません。
- 高知県内の産科医療機関で出産した場合には検査費用（1回目・2回目（再検査））はすべて無料です。
- お住いの市町村で新生児聴覚検査受診票が交付されます。



※里帰り出産で県外の産科医療機関で出産される場合や  
高知県での里帰り出産を考えている方は、お住いの市町村にお問い合わせください。

# 聴覚検査で異常を認めた場合はどうなりますか？

- 1回目の検査で、耳の中にたまった羊水や耳あかなどにより、音への反応が得られず、再検査になる場合には、退院までに再検査を行う場合があります。
- 検査の結果、より詳しい検査が必要となった場合には、検査をした医療機関が【高知大学医学部附属病院耳鼻咽喉科】に予約をします。予約がとれましたら、検査した産科医療機関からお知らせをしますので、診療情報提供書をもって必ず検査を受けてください。

# なぜ耳鼻咽喉科への受診が必要なのですか？

- 生まれつき耳の聞こえにくいお子さんは1000人におよそ1~2人とされています。

**聞こえにくさを早い段階で発見し、適切な療育を受けることで、お子さんのその後のことばの発達や、コミュニケーションの獲得につながっていきます。**

- 新生児期だけではなく、お子さんの成長していく中で中耳炎やおたふくかぜなどの原因で聞こえに問題が出てくる場合があります。
- 1歳6か月児健診、3歳児健診、就学時健診で見つかる場合もありますので、ぜひ健診を受けてください。

# 感染した場合のおなかの赤ちゃんへの 治療法はありますか？

- 妊娠中におなかの赤ちゃんに対する治療法は確立されたものはありません。
- 産まれてきた赤ちゃんへも現時点では保険適応の治療はありません。ガンシクロビルとバルガンシクロビルというお薬に難聴に対する効果があるという報告があります。ただ、副作用も多く、小児科の先生と十分な相談が必要です。

# サイトメガロウイルスに感染しないようにするためには どのような予防法がありますか？

- サイトメガロウイルスは、感染したお子さんの唾液や尿にでてきます。妊婦さんにおいてサイトメガロウイルスの主要な感染経路は、上のお子さんを含む周囲のお子さんです。**予防をすれば十分防ぐことができます。**
- 上のお子さんにとってもお母さんはかけがえのない存在です。これまで通り、愛情を持って接してあげてください。

① 頻繁に石けんと水道水で15～20秒間、手を洗いましょう。

特に、おむつ交換、お子さんの食事、鼻水やよだれの処理、オモチャを触った後は念入りに手洗いしましょう。

② お子さんの唾液やおしっこがついてしまったオモチャや家具等は、きれいに拭き取りましょう。

サイトメガロウイルスは石けん、アルコール、漂白剤などに弱いので、手洗いや掃除の際は、水だけではなく、こうしたものが入った、薬局で売っている消毒薬を使うと効果的です。

③ よだれのついたお子さんの手やオモチャが口の中に入らないようにしましょう。

④ 食べ物、飲み物はお子さんとは別にし、同じ箸やスプーンやフォークも使わないようにしましょう。

⑤ お子さんにキスをするときは頬や唇へのキスはやめましょう。

そのかわりおでこにキスしたり、抱きしめてあげたりしましょう。

⑥ サイトメガロウイルスは乾燥に弱いので、敷物や布団類は天日で十分に乾燥させましょう。

⑦ 保育所などお子さん方と接する機会の多い職場で働いている場合は、職場でも①～⑥の感染予防法を実践しましょう。

# 最後に

- 予防をすれば、十分に防ぐことのできる感染症です。
- 感染したと思われる場合には、一人で悩まず、かかりつけの産科医療機関にご相談ください。



# 参考になるホームページ

- ・母子感染の予防と診療に関する研究班  
URL : <http://cmvtoxoumin.jp/>
- ・先天性トキソプラズマ & サイトメガロウイルス感染症  
患者会「トーチの会」  
URL : <https://toxou-cmv.org/>